

# シーリングに関する研究について(報告)

# 「日本専門医機構における医師専門研修シーリングによる医師偏在対策の効果検証」

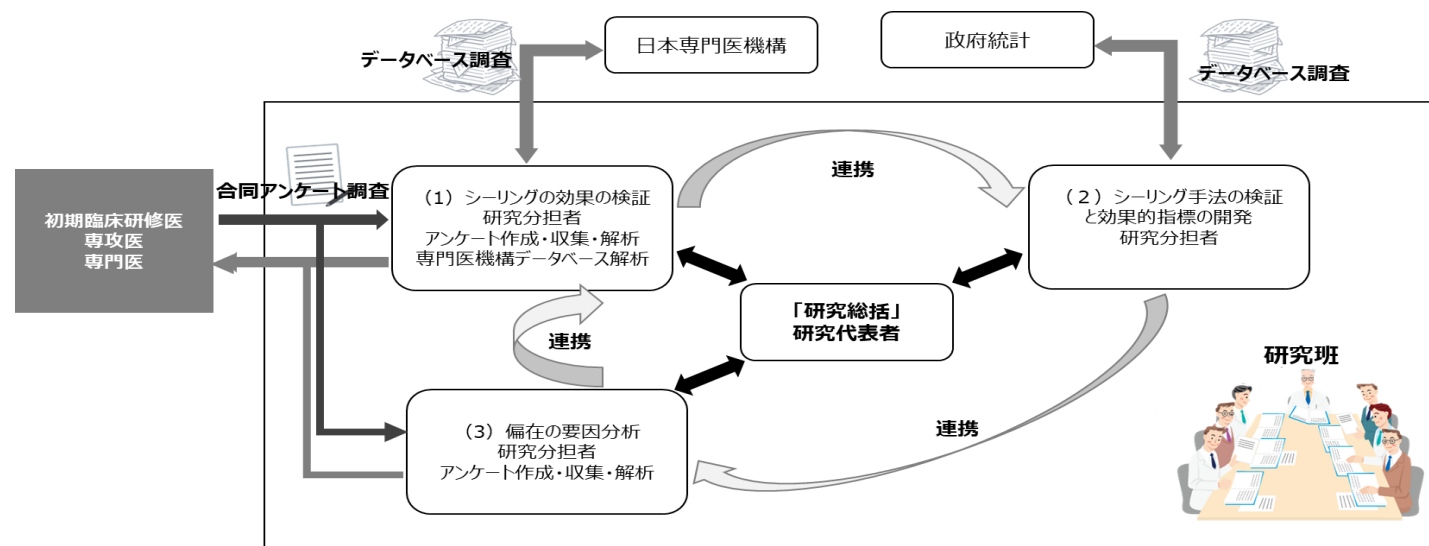
(令和5年度厚生労働行政推進調査事業補助金(厚生労働科学特別研究)、研究代表者:日本専門医機構理事長 渡辺毅)

## 【研究目的】

現在のシーリングの地域、診療科偏在に対する効果を検証し、また、専攻医の都道府県と診療科の選択要因の分析を行う。更に、諸外国ではどのような施策が行われているか、どのような指標が使用されているかについても調査し、今後のシーリングの設定方法や指標など、医師偏在対策としてのシーリングの将来的な制度設計の提言を行う。

## 【期待される効果】

本研究では、専攻医の診療科の選択や研修を行う地域がいかに決定されているかの要因を分析する。また、これまでのシーリングの効果について検証を行い、今後のシーリングの設定方法や指標など、シーリングの将来的な制度設計についても研究を行う。そのため、医師専門研修における都道府県別・診療科別の専攻医定員設定等、医師偏在対策に活用することが期待できる。



## 【研究全体の計画・方法】

### (1) シーリングの効果に関する基礎的調査・効果分析

シーリングが行われた専門研修の専攻医等を対象にしたアンケートならびに追跡調査を行い、医師の地域移動や診療科選択の実態を調査する。この結果をもとに、地域偏在対策効果や診療科偏在対策効果があるかを検証する。

### (2) シーリング手法の検証と効果的指標の開発

シーリングの算出では都道府県別・診療科別の必要医師数を基に計算を行っているが、諸外国における指標も参考にしつつ、より効果的・合理的な指標の開発を検討する。

### (3) 都道府県・診療科の選択要因の基礎的調査・分析

各基本領域の専攻医・専門医に対して、当該地域・領域を選択した要因についてのアンケート調査を実施し、地域選択や診療科選択の要因を検討する。

## 【研究成果の活用】

- 本研究の研究報告は、令和6年5月末頃になる予定であり、研究成果を踏まえ、日本専門医機構において十分に議論し、各基本領域学会とのコンセンサスを形成しながら、今後のシーリング等の検討を行いたいと考えている。
- そのため、実際に本研究成果での提言を踏まえたシーリング案等の活用については、専門研修部会での議論等も必要となることから、令和8年度研修開始の専攻医募集からになる予定。